

Clinical Cloud には各領域を牽引するオピニオンリーダーによる良質な医療情報を掲載しています。

最新動画
情報

登録無料



第48号

令和5年3月1日

発行元 株式会社Doctorbook | 東京都千代田区内神田一丁目14番10号

vol. 048

POINT 1

アレルギー性鼻炎は
気管支喘息の増悪リスク

POINT 2

小児期に免疫療法を
行うことの利点

POINT 3

アレルゲン免疫療法による
喘息予防効果への見解



アレルギー性
鼻炎

アレルゲン免疫療法への
期待と見解

16:50
小児気管支喘息に合併する
アレルギー性鼻炎



国立病院機構三重病院
耳鼻咽喉科 科長
増田 佐和子先生

- 専門分野
アレルギー学、小児耳鼻咽喉科
科学、聴覚医学
- 所属学会
日本耳鼻咽喉科学会：認定
専門医、指導医、代議員
日本アレルギー学会：認定指
導医、代議員
日本小児耳鼻咽喉科学会：
理事
日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー
感染症学会：評議員
日本小児アレルギー学会、日
本聴覚医学会、日本鼻科学
会、日本耳科学会、人類遺伝
学会、など

2000年代に入り、アレルギー性鼻炎の国際ガイドライン(ARIA)でアレルギー性鼻炎が喘息に及ぼす影響の重要性が述べられ、以後 one air way, one disease の概念が普及し、上下気道のアレルギー性炎症の密接な関連が一層注目されるようになりました。喘息患者の約80%がアレルギー性鼻炎を合併することと知られています。また、アレルギー性鼻炎は喘息の発症や増悪の危険因子となることも判明しています。アレルギー性鼻炎に対して、多くの経口薬、点鼻薬などの外用薬がありますが、対症療法であり、治療はできません。唯一の根治治療とされるアレルゲン免疫療法のうち、本邦では皮下法はアレルギー性鼻炎と喘息、舌下法はアレルギー性鼻炎のみに適応があります。そこで、アレルギー性鼻炎と気管支喘息の関係性、アレルゲン免疫療法の現状を中心に、詳しく伺いました。



POINT 1

PDDの出現タイミング

POINT 2

幻視の対応方法

POINT 3

治療難渋症例の
要因とは？



特集

PDD



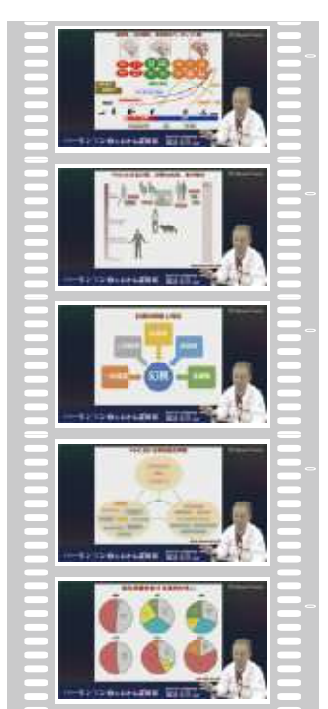
藤田医科大学病院
脳神経内科 教授
渡辺 宏久先生

- 専門分野：認知症、パーキンソン病、神経変性疾患
- 所属学会等：
日本神経学会(代議員)、日本自律神経学会(評議員)、日本神経治療学会(評議員)、Movement Disorders Society (Asia Oceania Section Executive Committee Member)、パーキンソン病診療ガイドライン2018委員、認知症疾患診療ガイドライン2017委員 他

パーキンソン病は全身病ですが、中でも認知機能障害の適切な管理は極めて重要な位置づけとなります。パーキンソン病発症後に起こる認知症は「認知症を伴うパーキンソン病(PDD)」と呼ばれます。PDDと代表的な認知症の一つであるアルツハイマー型認知症では、どのような特徴が異なるのでしょうか。PDDでは中核症状として、認知機能障害があり、その中でも遂行機能障害と視空間機能障害が早期に障害される傾向にあります。また、周辺症状である妄想、幻覚、認知症の行動・心理症状(BPSD)として幻視、幻覚、妄想、アパシー、うつ、易怒などが挙げられます。その中でも幻視に関して、治療介入の要不要の判断、内服薬剤減量・中止の順序、非定型抗精神病薬と死亡率の関係性といった治療フェーズでの注意点を挙げていただきたく思います。パーキンソン病と認知症の関係性をわかりやすく捉える上で、是非ご覧いただきたい内容となっております。

9:42
パーキンソン病における認知症

パーキンソン病と
認知症の関係性



難病

内科医と産婦人科医にとってのフォン・ヴィレブランド病

19:30



Rare Disease Frontire 難病フロンティア vol.3

注目動画1

- POINT 1 ここ数年で患者数が1.6倍に増えている
POINT 2 過多月経のスクリーニングのための3つの質問
POINT 3 月経過多女性を診る婦人科の先生へのお願い

月経過多の女性の約12~30%が何らかの止血異常症の背景があると考えられています。米国CDCによる調査では、月経過多の症状出現から止血異常症の診断に至るまで約16年を要しているとの報告があります。

国立病院機構 大阪医療センター 血友病科/感染症内科 医長

西田 恭治 先生

専門分野 血液凝固、血友病、HIV感染症



LIVE 振り返り 視聴

第1回 地域医療連携講演会 ビジネスモデルで考える 地域医療連携

42:08



注目動画2

- POINT 1 都市部急性期病院の医療圏、市場を考える
POINT 2 企業に学ぶ、価値創造のプロセス
POINT 3 ビジネスモデルで考える疾患別医療連携

第1回となる今回は、聖路加国際病院の事例になります。同院では、小児科、乳腺外科の各診療科で紹介・逆紹介の改善プロジェクトに取り組み、顧客提供価値を踏まえた運用を整備。その結果、年間2.5億円の増収に成功しています。

学校法人 聖路加国際大学 聖路加国際病院 医事課マネージャー

岡田 太郎 先生



CLINICAL CLOUD LIVE クリクラライブ

Clinical Cloud LIVE

第2回 地域医療連携講演会



日時

2023年3月24日 金

第1回

14:00-15:00

第2回

18:00-19:00

演題

横浜市立大学附属病院における地域医療連携の取組 ~公立大学病院における課題と今後の展望~

- ①当院は地域医療連携を進めなければなりません!~当院の課題を地域医療連携が救う!~
②当院で地域医療連携を進めるのは大変です。~大学病院って大変なんです~
③当院の地域医療連携の未来は明るいです。~全教職員一丸となって進めています!~

演者

公立大学法人 横浜市立大学附属病院 地域医療連携課 地域連携担当 副課長

岩壁 央 先生

参加費無料

Clinical Cloud 無料会員登録が 必要になります

※第1回と第2回は、同じ内容のご講演となります。
※質疑応答は、第1回の時間帯に限り実施いたします。予めご了承ください。